

専門科目「心理学」

- 注意（１） すべての問題用紙・解答用紙に受験番号を明記すること。
- （２） 設問のⅠ、Ⅱについて、それぞれ別の解答用紙を用いること。
- （３） 解答用紙に科目名、問題番号（Ⅰ、Ⅱ）を明記すること。
- （４） 試験時間内の退室はできない。

Ⅰ. 次の問いに答えなさい。(50点)

教育心理学において、現場でおこなわれる実践研究と、現場を離れた実験室等でおこなわれる研究とには、それぞれどのような長所と短所があるかについて、具体的な研究例を設定しながら説明しなさい（設定する研究例は、実際に既に誰かによっておこなわれた研究でも、自身で仮に想定した研究でも、どちらでも構わない）。

また、それをふまえ、教育心理学の研究の望ましい形について、自身の考えを論じなさい。

Ⅱ. 学習動機づけに関する理論（自己決定理論、期待×価値理論、原因帰属理論）のうち2つを選び、以下の問いに答えなさい。(50点)

- （１） 選択した2つの理論を明記した上で、それぞれの理論に基づいて学習行動を説明しなさい。その際、教室場面に即した具体例を少なくとも1つ挙げる。さらに、両理論がどのように補完し合うか（それぞれの説明範囲、2つを合わせると何が説明しやすいか等）を述べなさい。
- （２）（１）で選択した2つの理論に基づき、小学生の学習動機づけを高める実践介入研究のデザインを考えなさい。介入の内容、仮説、測定指標と手続き、内的妥当性を高めるための工夫、実践者兼研究者として介入研究を行う際の留意点等を述べなさい。必ずしも論文形式で記述する必要はなく、見出しを立てたレジュメ形式で箇条書きを用いてもよい。ただし、単語のみの列挙ではなく、各項目について根拠や理由が分かるよう、文章で記述すること。